まき

発行所
西蒲原郡
巻町公民館
発行責任者
樋口弘雄
印刷所 北斗印刷株式会社

鎧潟綜合調査計画

干拓事業に伴い

～本年より昭和36年まで～

面積四四七陌の湖沼、鎧潟も昨年より干拓の仕事が、すすめられ、いよいよ実際工事に着手した。永い歴史と、幾多の伝統とをもち、周辺の人々に生活の糧を与え、時には生活を脅かしてきた鎧潟も、昭和三十七年には、水が無くなってしまう。

面積四四七陌の湖沼、鎧潟も、昨年より干拓の仕事がすすめられ、今年は実際工事に着手している。

永い歴史と、幾多の伝説とをもつ鎧潟、幾百年もの間周辺に住む人達に、生活の糧を与え、時には、この人達の生活を脅かすこともあった鎧潟は、昭和三七年に水が無くなるときく。

飛落川、大通川、新木山川が潟のまわりに造られる排水路によって、直接に、新川につないで、海に落すことになっている。

鎧潟の、水の落ち口、即ち新川の取入れ口に、鎧潟排水機場がつくられ排水を始めると、一週間で、潟の水がなくなってしまう。

実際造田され、農家が入植、増反されるのは、昭和四十年までかかる計画であるが、この干拓事業の終らぬうちに、鎧潟の風物、動植物、地質考古、歴史、伝説民俗、陸水等を出来るだけ調査し、記録しておきたいと、云うのが、町の教育委員会の計画であり、本年度それが一部予算化されて、次の陣容で、打合せ会や、予備調査を行なっている。

○歴史関係
（古文書、古地図、地名、変遷）
新潟大学　小村　教授
巻町　斎藤　順作

○民俗関係
（漁法、生活、風習、伝説）
北越商高　金塚　教授

○考古関係
（出土品）
巻町　上原甲子郎

○動物関係
△昆虫
巻町　横田栄三郎
△魚類
巻農高校　中山先生
△植物
巻高校　曽我　先生
峰岡中学　後藤　光衛

○陸水関係
（湖沼、変遷）
巻高校　斎藤幸太郎

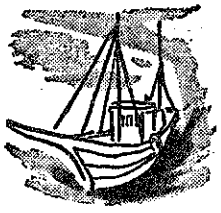
○地質関係
新潟大学　西田　教授

○風物関係
（潟の四季、写真、拓本）
公民館　石山　主事

この綜合調査について、単に巻町だけでなく、流入する河川、流出する下流の、それぞれの地域や、周辺の町村の協力や、関係古文書の所蔵家の協力を仰がねばならず、陸地の調査と異り船を利用する事も多いのでそれの交渉や手配にも準備を進めている。

予備調査の現段階では、何百種類とある、昆虫や、植物、しかも四季によって異る発生、生育の状態を、どれを重点に調査してゆくかが調査担当者間の問題であり、採取器具、採取物の保存、調査の手順、完了までの必要経費、調査書の刊行等、絶えず打合せ、現地調査が続けられている。

数少い淡水魚でも、潟には二十種以上棲息している。



（鎧潟における調査団）

栃木・静岡の青年との交歓

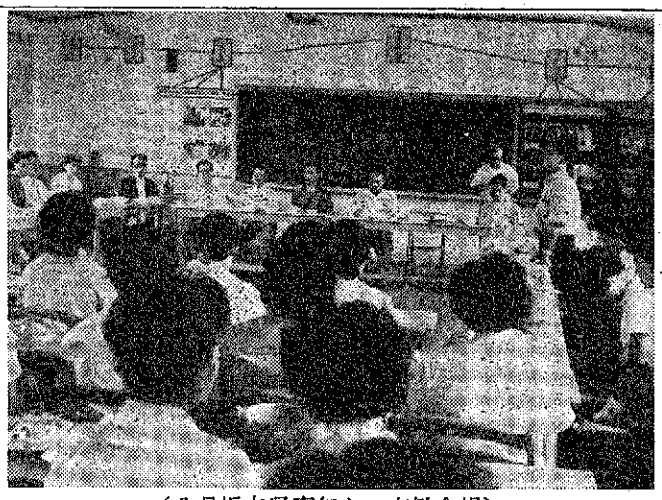
栃木

去る八月（二泊三日）で来町した栃木県上河内村青年団を訪ねて、巻町青年学級生、三十二名が、次の日程で、見学、交歓旅行をする河内青年団の生産学習見学を主とし、田畑一町四反平均の営農を見、近くの日光見物もする予定。

11月15日　朝　巻発
仝　日夜　交歓会一泊
11月16日
仝日午前　学習見学
仝日午後　現地見学
仝日夜　日光一泊
11月17日午前日光見物
午後　帰町

静岡

栃木行きの学級生一行は、十六分館の学級主事と、八月栃木青年団来町時に宿泊を引き受けた学級生を対象にして行くのとは別に同じ八月末、単独交歓会を持ち、静岡県榛原町青年団五十余名を受け入れた、竹野町、中郷屋両青年団員六十名が、十一月二十日、はるばる静岡榛原町を訪ねる。お茶の産地榛原青年団の活動と生活に何を学んで来るか。静岡との連絡交渉に本間昭一君が先発する。



（八月栃木県青年との交歓会場）

菱の実

城山、金仙寺の勾玉、管玉、松野尾の良寛書「いろは、一二三、」赤さびの遍照寺の聖観音立像の六件が町の文化財に指定された。すでに金仙寺の菖蒲塚は国の指定史蹟として、経筒、鏡は国の重要美術品として指定されている▼その意図する処は、祖先のすぐれた文化創造力の結晶である文化財の保護と、その中からより新しい生活文化への希いがこめられている▼近く干拓される鎧潟に巻町が綜合学術調査にのり出した▼詩歌や俳句にあるいは絵画、写真など文化に大きな役割を果し漁獲や鴨猟などこゝを生活のよりどころとした人達もある一方又農民の水との斗いに幾多の流血の惨事も秘められている▼祖先のえいちと勇気と喜びと悲しみを、はっきりと浮彫させ、そこから将来、何が大切であるかを知るためにも真正面から潟の調査にのり出した巻町に敬意を表したい。

▼この町に文化財保護委員会が設置され、仁箇の水芭蕉、稲島の銀明竹竹野町の

文化祭　本館、分館、学校

十一月には、公民館本、分館、学校が一斉に多彩な文化祭行事を開催する。本年は、十一月三日を中心とした行事と、中旬即ち十五日前後の行事と二十二、二十三日の連休に計画した文化祭と地区によって異っている。農作業の終ったこのときに、作品展に芸能に、一家揃ってお出掛けいただきたい。けれども、展覧会即コンクールでない筈。大人も子供も美に接する又とない機会であり、社会性、鑑賞力を養う機会でもあることを知っていただきたい。

本館・巻分館

1日・一時　義太夫の会
2日―3日・九時―五時　生花展
3日・町民ハイキング　角田山麓
4日―5日・九時―五時　都菊花展
4日―8日・九時より　巻町菊花展
6日―7日九時―五時　盆栽展
8日―10日・九時　洋画展
11日・午後五時　謡曲の会
13日―14日九時―五時　写真展
15日―16日・九時―　シャボテンの会
17日―18日・九時―　書道展
19日―20日・九時―　巻町文化遺産展（巻町古地図）
25日・九時―　北村晩翠個展
　　余技展

巻小学校
十一月三日四日　作品展　学芸会

竹野町小学校（分館）
十一月十五・十六日　作品展　学芸会（16日）

入徳館小学校（分館）
十一月十四日十五日　作品展　学芸会　農作物展　生花　教育資料展

松野尾小学校（分館）
十一月一日―三日　菊花展　農作物展
十一月廿二、廿三日　作品展　学芸会

越前浜小学校（分館）
十一月　作品展　学芸会　農作物展

四郷屋小学校（分館）
十一月中旬　作品展

漆山小学校（分館）
十一月三日　菊花盆栽展
十一月廿二・廿三日　作品展　芸能祭

浦浜小学校（分館）
十一月廿二・廿三日　展示会　芸能祭（教室新築祝賀）

巻中学校
十一月六―七日　作品展　演劇　音楽　舞踊　バザー（一般七日）

峰岡中学校
十一月十四日　作品展　芸能祭
十一月十五日（予定）　バザー

浜松中学校
十一月　各教科クラブ作品　音楽・舞踊　演劇

漆山中学校
小学校会場で共催　分館、青年団、婦人会、すいよう会共催

浦浜中学校
小学校と共催　書道　生花　絵画　被服　写真　演劇　音楽　舞踊　山の映画会

県立巻高等学校
十月三十日　書道　生花　絵画
十一月一日　被服　写真　演劇　音楽　舞踊

県立巻農業高校
未定

聖観音立像―町指定文化財
（小沢法詮氏蔵）

社会教育法の改正

社会教育法が定められてからすでに十年になります。この十年の間に、社会教育は、それぞれの町や部落の実情に即しながら、住民自身のものとして伸展してまいりました。

この伸展に伴うことと一層の充実強化を図るため社会教育法の一部が改正されましたので判りやすくお伝えいたします。

・公民館のこと

社会教育の施設としての公民館や分館のことが今までよりはっきりしてきたことです。それと公民館を新築する場合補助や起債も多く出る様になりました。

・社会教育主事のこと

町や村の教育の仕事は学校教育と社会教育の二つにわけられます。社会教育も、公民館職員のやる仕事に法で定められた限度があり、機構の上からも、社会教育の一部である公民館の職員に社会教育全部を担当させる事の不備を、今度の改正で社会教育主事を置くことに改めたのです。

・団体補助のこと

県でも町でも、団体に補助金を出す事が禁ぜられていました。今度は、社会教育団体に対して、県や町は、補助金を出せる事になったのです。けれども出す時には、そこの社会教育委員の意見をきえてから出さねばならぬのです。

・社会教育委員

県や町の条例で社会教育委員を置く事が出来たのですが、この社会教育委員の責任と仕事が重要になってきました。

現在巻町の社会教育委員は次の方々です。

委員長　後藤　光衛
委員　田中　高次
〃　西川　てる
〃　土田　誠
〃　鈴木　三郎
〃　渡辺　正夫
〃　高田弥雄司
〃　小川　清作
〃　篠沢　進
〃　沢栗　ギイ

教育委員

巻町教育委員に新しく漆山地区の古沢さんが委嘱されたので現教育委員は左記の五名

委員長　鈴木　一雄
委員　上原　金七
〃　関口　太郎
〃　古沢　栄作
教育長　笠原　俊弐

町指定文化財

一、聖観音立像（奈良時代）　小沢法詮氏蔵
二、良寛書　山賀貞信氏蔵
三、勾玉、管玉（古墳時代）　樋口弘雄氏蔵
四、天然記念物　水芭蕉（仁箇）　銀名竹（稲島）
五、史跡城山（竹野町）

産業

予想より減収したのは何故か
――私はこうみる

巻普及所　渡部卯三郎

稲の生育型で豊凶を表わすに長稈多けつ型は豊作で、短稈少けつ型は凶作と言われているが今年の稲型から検討すると概して短稈少けつ型と言える。

参考までに昨年を一〇〇とした場合の収量構成要素を記せば次の通りである。

出穂は早生で三日遅く、中生は一日早く、晩生は二日早い。

稈長が八五％で中生九四％、晩生一〇〇％穂数は早生八六％、中生七五％、晩生七八％穂長は早生一〇一％、中生一〇一％、晩生一〇〇％、有効茎歩合は早生六八％、中生七四％、晩生七六％となる。

次に病虫害であるが生育前半は少なく後半になって穂首いもち、（枝梗いもち）白葉枯病、紋枯病が近年になく多発した。

このような状況の中で数百点の坪刈から地区の収量指数を出すと昨年に比し、四・五％増で、一昨年に比し九％減となっている。

さて予想より減収した原因であるが、結果としては粒重が軽かった（籾が厚かった）ことです。ではどうして軽くなったか反省してみるに、

一、水がたりなかったのではないか

二、白葉枯病並に穂首いもちの多発？

三、穂肥が充分数がなかったのでないか

の三点があげられる。

水不足の表われとしては、稈長が短いこと又、昨年稲刈に苦労したので、早期に落水した。又白葉枯病は本地方で発生して三年目であるが、初発生も早く全地域に広がって来ている。

次に穂肥であるが、七月上旬梅雨模様のため、稲色がよくて、穂肥を充分利用することが出来なかった。

これらが綜合的に粒量を軽減したものと思われる。

たより

民生課　役場

母子家庭の方へ

不幸にして、夫に死別又は離別した母子家庭に、母子福祉と云う、幸福の青い鳥を求めることが出来ます。

㈠男手を失った家庭、貧困と子供の養育に苦労を続けている、お母さん方に是非とも知ってほしいことです。

㈡親、兄弟にも相談出来ないこともありません。

㈢自分と同じ境遇の人がどうしてこの苦労からぬけ出たか、この苦境を打開する為めに話し合う事や、扶け合う、交誼の集まりが必要だと思いませんか。

㈣この為めに郡内で、既に六ケ町村に母子福祉団体があります。こんな時に、同じ環境の人で話をきいて相談にのってくれる人があったらと思いませんか。

㈤この母子福祉団体が出来ると良い助言や指導の機関もあります。役場厚生課、社会福祉協議会、婦人会等です。

早く巻町にも母子福祉会をつくって、よき生活環境のもとに母、子ともに明かるく楽しい暮しが出来ます様念願いたします。

各地区の世話人の方か、役場の厚生課に入会の申込みをして下さい。

（拡張工事中の巻町水道）

総務課

農業センサス

◇昭和三十四年十二月一日を期して世界農業センサスのため、準備調査を行います。

◇昭和三十五年二月一日を期して、一九五〇年世界農林業センサス実施になります。

◇これは十年目毎に、国際連合の食糧農業機構の提唱によって、世界の百余国が参加して行うのです。

◇これはわが国にとっても、国の農林業の実態を統計的に正しく把握して、農政の進路を定め、農業の生産力を高めるに必要な、資料ともなります。

消防

◇巻町では国より百名調査員が委嘱されて、各々分担して行います皆様からも御協力を願いたいと思います。

◇本年一月から巻町で十四件の火災がありました。

◇その内、子供の弄火三件、過熱二件、かまど一件、取灰一件、たばこの吸殻一件不明六件、その他一件となっています。

◇一番損害の大きかったのは一件四〇〇万円もの被害です。

◇寒さに向いますと、又火事の季節です。お互い十分注意いたしましょう。

◇危険物取締りに関する法律が変りましたガソリン、石油、重油等の、保管、貯蔵の取締りに消防署があたる事になりますが、消防署のない町村では県が直接やります。

土木

水道の拡張

水道の拡張工事が進んでいます。

明年度にもわたりますが、工費は三千万円にもなります。

この工事は、一万一千人分の水を送る為めに工事を急いでいるので完成いたしますと、漆山全地域、峰岡地区平坦部全地域に給水が出来ます。

現在行なっている工事は巻吉田組と配管は久保田水道工事株式会社です。

公民館

ここ四、五日ようやく部落の青年遠の顔がぽつぽつ公民館に見えるようになった。

久しぶりに見るどの顔も日やけした。いかにも青年といった感じ。

公民館では今年も又部落の青年学級、婦人学級をやる計画です。今年の学習計画について各学級毎に相談をして下さい。

来る二十五日町の方々による余技展（書、画、写真、彫刻、手芸）を開催いたしますから奮って御参加下さい。

作品は二十四日正午迄に公民館にお持ち願います。

巻公民館の図書の貸出日が変りました。昼間の貸出しは従来通り毎日ですが、夜間の貸出日を火曜日と金曜日に変更しました。せいぜい御利用下さい。

今月の史学会の集りは十七日夜七時半から巻公民館の文化遺産展の会場で古地図を中心に開きます。

郡の社会教育研究大会が十七日午前十時から弥彦小学校で、二十九日午前九時半から郡教育映画祭が巻小学校で開催されますので皆さんの御出席をお願いします。

政治討論会

・主題「安保改定の是否」
・日時　十一月二十二日午後一時より
・会場　巻小学校
・講師　各党代表

巻青年団芸能大会

・とき　十一月二十三日（昼夜公開）
・会場　巻小学校
・出演種目　演劇・コーラス・フォークダンス　舞踊

ピクチャーストーリー

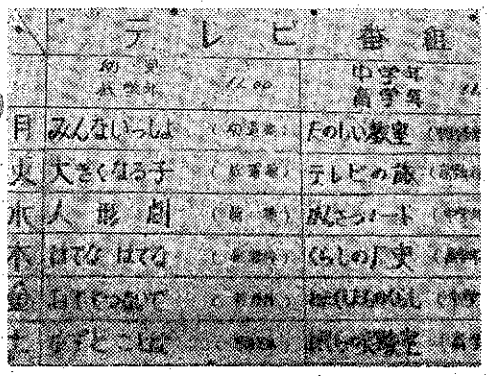
山村のテレビ時代

学校

巻町でただ一つの小学校分校のある稲島、伏部は角田山の麓にうづくまったような僻村だ。

分校、　童数は六十六名、二人の先生が複式授業を受持っている

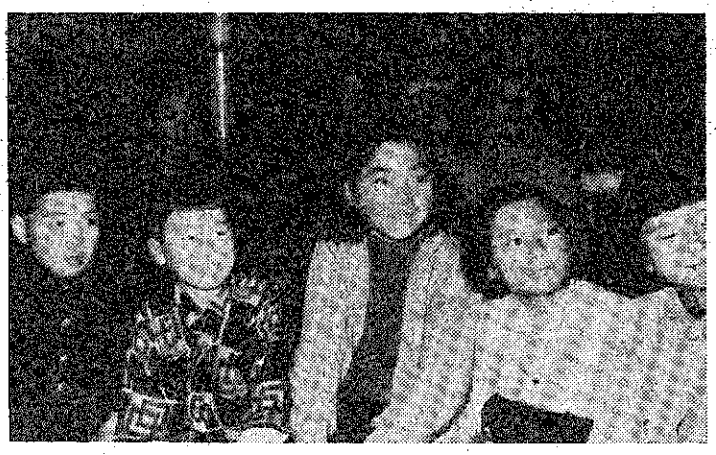
ところが今年の春、全放連十七インチのすばらしいテレビが、どこの学校にもさきがけてＰＴＡから贈られた。山の子供達の喜びようは一通りでなかった。



テレビ番組

	小学校	中学校
月	みんないっしょ	たのしい教室
火	大きくなる子	テレビの歌
水	人形劇	放送ノート
木	はてな はてな	くらしの工夫
金	[illegible]	[illegible]
土	[illegible]	[illegible]

学校では大いにテレビを教科に役立ようと心をくだいているのがよくわかります。今日は交通道徳を扱った面白いマンガを見ながら笑いの中で理解させようというのてです。



家庭

学校にテレビが入ってから、家庭でもぼつぼつ買い入れて、今では全戸百二十余世帯の中十八台を数えています。

子供達の興味は、野球、相撲などのスポーツはむろんのこと、風小僧、スーパーマン、ジャガーの眼、名犬ラッシー等の番組にあつまり、それが彼等の遊びや、言葉づかい、歌などによく現われると先生達は話しておられる。

家庭におけるテレビ教育はまだまだこれからというところ。

むすびに

教育者の中には、テレビを軽文化の流行だとしてマユをひそめているむきもなきにしもあらず。

何とか積極的に受取ってゆく方法はないものだろうか。

老人達はこの新しい「はやりもの」におどろき、「長生きはするもんだ」と喜んでいる。

編集後記

収穫の秋を終えて、ほっとした皆さまのお手許へ、久しぶりに公民館報をお届け致します。

秋は文化のシーズン。各地ではいろいろの催しが行なわれています。

文化祭のマンネリズムを脱皮して、何とか新しいものの芽ばえを期待しようではありませんか。（Ｈ）